

調査 総務福祉常任委員会所管事務調査報告

令和元年11月5日(火)

認知症に関する正しい知識を習得し、接し方などについての理解を深めるため、地域や職域団体などを対象に実施される「認知症サポーター養成講座」を受講しました。

高齢化社会の中で、今後も認知症が増えると予測されており、厚生労働省の資料によると、65歳以上の認知症患者数の将来推計では2020年は631万人、2030年は830万人で、65歳以上の4人に1人が発症すると推計されております。

国会では、認知症施策推進総合戦略（オレンジプラン、新オレンジプラン）などを策定し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて2019年度予算でも認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進策として認知症サポーターの環境づくり、見守り体制構築の予算が計上されております。

「認知症サポーター」とは、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り、支援する応援者のことですが、今回の基礎講座を受講してみて、地域や身の回りでサポーターとして意識する人が増えることが求められることを強く認識させられる講座となりました。

講座は、始めに認知症の記憶障害などの中核症状や、妄想や徘徊などの行動、心理症状とその支援に関する基本的な説明を受け、続いて、認知症の人と接する時の心がまえなど、寸劇を交えながらわかりやすく説明していただきました。その後、認知症サポーターができることなどについての説明があり、最後には活発な質疑・意見交換となりました。

今回の講座を受講して、普段はあまり気にすることのなかった認知症への理解を深めることができました。

今後は今回受講した講座の内容を日頃から心がけ、認知症サポーターとして、認知症の方やその御家族の想いに寄り添いながら、見守り支援する存在であり続けなければならないと強く認識させられました。

平内町
議会議員第14号
2020年1月8日発行

田中だい通信

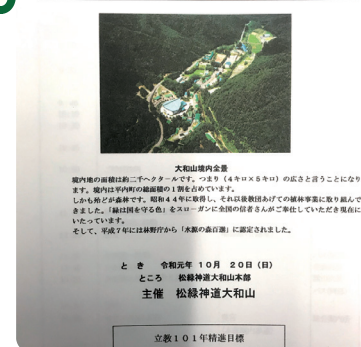


着実！ひとつずつ！変わる平内！変わる未来！

地域活動



大和山を知る集い

立教101年
大和山を知る集い

10月20日(日)、平内町総面積の約1割を有する、大和山の「松緑神道大和山を知る集い」に参加いたしました。毎年この時期に開催されているこの集いには、町内外より26名の皆様が参加され、ガイド付きで大和山の歴史について学び、施設を見学するものです。どなたでも参加できる集いですので、またの機会に参加されてはどうでしょうか。平内のパワースポットで宝物探しです。

交通安全！冬の事故を減らすために！



土屋バイパス

ドライバーの無事故を願います

土屋バイパスは、皆さんもご存知のとおり冬期間、吹雪により視界不良となることが非常に多いです。国土交通省に浜子パーキング前や津軽自動車道に設置している誘導灯設置の陳情をしましたが、予算の折り合いがつかず、今冬に蛍光旗というものを設置することで妥協しましたが、今後の改善策を見据え、設置後は皆様の御意見をお聞かせください。



狩場沢地区4号線

居眠り対策に力を入れます

追突事故が多発している狩場沢浜懸地区。ほとんどの原因が長距離ドライバーによる居眠り・わき見運転とのことです。事故減少対策を国土交通省に陳情しておりましたが、この度ドットライン（車線の内側に太い点線を引くこと）対策をしていただきました。車道が狭く見えて速度を遅くさせる効果があるとのことから、今後の経過を観察してまいります。



町政へのアイデア、ご提案、ご要望募集中！
皆様から頂いたお声は、議会で質疑したり担当課に直接要望したり、責任をもって町へ届けます！

電話 017-763-0170 FAX 017-755-4295 携帯 090-3125-8752

メール tanakada_0525@yahoo.co.jp

※この新聞は後援会討議資料です



自民党活動

参議院議員 佐藤正久氏と

11月23日(土)、ホテル青森に於いて津島淳政経フォーラムが開催されました。私は、講師の佐藤正久参議院議員の随行を担当いたしました。佐藤先生は、テレビで見たままの気さくでありながらも謙虚で腰の低い方でした。

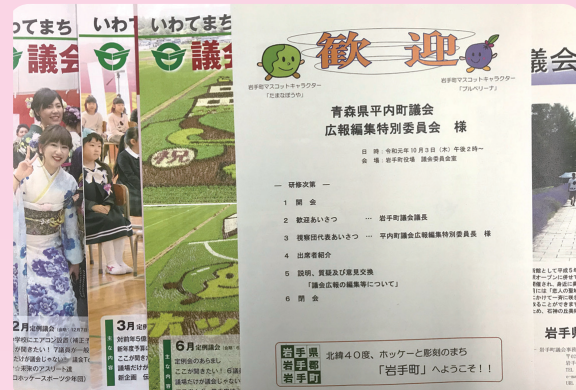
自民党合同大会

12月14日(土)、自民党青森県連青年局女性局合同大会が開催され、私は総司会という大役を全うしました。これで青年局は年齢制限により卒業となりました。



議会広報委員会視察

10月3日岩手県岩手郡岩手町議会、10月4日岩手県九戸郡軽米町議会へと町議会広報編集特別委員会視察に行っていました。岩手県内町村議会は、議会広報誌編集作成においてトップレベルであります。当委員会での任期は、4年間ですが、2年前の同様の視察では、チンプンカンプンだったことを思い出します。しかし、現在は違います。我々の議会広報編集特別委員会は、かなりの進化を遂げています。我々は、現在第二の課題に直面しております。それは、発行までのスピード化、三者（委員、議会事務局、業者）の役割分担明確化です。任期残り数か月で答えをだし、次の委員へ引き継がなければならないと決意しました。



議会フォーラムを開催

11月9日(土)、議員自らの主催で議会フォーラムを開催しました。お茶を飲みながらの和やかな雰囲気を実施するはずが、自分が一番緊張しておりました。



町民の声を実現したい！ 高校卒業までの医療費無料化を！

令和元年第四回議会定例会一般質問

田中大

子育て支援策の充実は、我が町の重要課題の一つ。

PTA活動時代から議員となった現在でも、高校三年生までの医療費を無料化してほしいという希望を多数頂いている。

平内町は中学生まで拡大して医療費無料とし、他町村に比べても先進的に導入を進めてきた。現在、県内40自治体のうち31自治体が中学生までの医療費を無料とし、うち8自治体が高校生までの通院・入院を対象とした医療費無料化を実施している。

東青では、外ヶ浜町が高校生までを対象（所得制限無・一部自己負担無）に医療費の無料化を実施し、大変喜ばれているとのこと。町が先駆けて実施した幼稚園・保育園等無料に充てた財源を充当替えした場合、すでにスタートの準備は整っているはずと考える。

コンビニ受診増加が指摘されるが、全国保険医団体連合会の調べでは、医療費は無料化にしても横ばいで推移しており、逆に夜間診療の減や適切な歯の治療がなされ、長期的には医療費を抑える効果があるとの事。

慶應義塾大学調べでは、通院の無料化は、高額な入院の5%もの件数の削減に繋がり、良い事だらけであるとの意見である。当町の子育て支援策を拡充すべく、高校生までの医療費無料化実施に向けて、町当局の考えを求める。

町長

「子ども医療費の拡充について」H23年度から医療費の助成対象年齢を中学校卒業までとし、保護者の所得制限を撤廃、償還払いから現物給付にするなど保護者の方々が利用しやすいよう進めてきた。

国の政策で10月から幼児教育・保育の無償化が始まったが、全ての子供たちが対象ではなく、3～5歳・0～2歳の内、住民非課税世帯が無償化された。当町は、国の制度で対象にならなかった費用を含む幼稚園・保育園の完全無料化を今後も継続していく。

「政策に伴う平内町の負担軽減額を高校卒業までの医療費無料化に」という事であるが、試算したところ、本年度3,000万円、来年度5,000万円弱と思われる。

しかし、町予算全体で考えた場合、ホタテ養殖水揚げ額の減少等に伴う町税の減少や、消費税増税の影響、老朽化した町有施設などの改修という、非常に厳しい財源状況となるため、経営経費増となるソフト事業・議案については、慎重に検討を要し、総合的に判断していきたい。

田中大

高校3年生までの医療費無料化は、過去他の議員からも要望があり、多くの保護者が待ち望んでいるため、令和2年度からの実施を再度要望する。



子供達のため 高校まで無料化を！